



## 生物多様性のシンボルに あつぎこどもの森公園が自然共生サイトに認定

あつぎこどもの森公園（中荻野 916-2）が、環境省が進める「自然共生サイト」に認定。国際データベースへの登録も予定されています。

### 1 概要

あつぎこどもの森公園は里地里山の自然環境が残り、希少種をはじめとする多くの動植物が生息する公園です。自然共生サイトは、「民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域」を認定する仕組み。令和 5 年度に始まり、現在までに全国 569 カ所が認定されています。

### 2 目的・背景

本市は豊かな自然を次世代に引き継ぐため、2030 年ネイチャーポジティブの実現を目指しています。生物多様性の保全・回復に取り組む中で、市民の関心を高めるための周知啓発が求められていました。

### 3 PR したい内容、事業のポイント、前回との違いなど

- ・本申請に当たり、希少種を含む 831 種の動植物の生息を確認しました。
- ・同公園では市民団体「あつぎこどもの森クラブ」（井上允会長）が、年間を通じて自然環境の保全活動や市民向けの体験講座を実施しています。このほか、自然環境の保護活動や学術調査に取り組む一般社団法人の森里（もり、小林夏子代表理事）、施設を管理するオリエンタルコンサルタンツ（渋谷区、野崎秀則代表取締役社長）が共同で保全活動に当たります。
- ・自然共生サイトの認定期間は 5 年間。今後は同公園を生物多様性のシンボルとし、企業や市民団体と連携した生態系の保全・回復に努めていきます。
- ・市内の自然共生サイトは他に、半導体エネルギー研究所（長谷、山崎舜平会長）の S E L ビオトープ、S E L かぶとむしの森（共に長谷）があります。

### 4 予算額

1,652 千円（自然共生サイト推進事業費）

### 5 他市の状況

県内では 38 サイトが認定

本資料の問い合わせ先

環境農政部 環境政策課

課長 松永 伸介 電話 046-225-2821